



地域学校協働活動と キャリア教育の広報紙

てなむ

回覧

◆ こばやしスクールサポートボランティアセンター
◆ 小林市キャリア教育支援センター

【小林市社会教育課】Tel 22-7912
【小林商工会議所】Tel 23-4121

毎年4月に「全国学力・学習状況調査」が小学6年生と中学3年生を対象に行われています。その中には、学習意欲や学習方法、学習環境などを問う質問調査があります。

◇ 学校に行くのは楽しい。◇ 将来の夢や目標をもっている。◇ 地域社会や世の中の出来事に関心がある。◇ 人の役に立つ人間になりたい。

小中共に57ある質問には、上に示したような、学習の動機に繋がる項目もあります。これらの質問に「そう思う」と答える子どもと「思わない」と答える子どもとでは学習への意欲も異なることでしょう。それでは、子どもたちの学習意欲を高めるにはどうすればいいでしょう？その一つが、身近にいる大人の存在です。

地域学校協働活動を始め、外部人材による授業や講演会など、学校には大人と出会うさまざまな機会があります。人の為に尽くしたり何かに挑戦したりしている大人の姿は子どもたちに大きな影響を与えることでしょう。それは「有名人」だけの話ではありません。子どもたちの周りに魅力的な大人が増えることが、子どもを変え、地域を変える力になると思います。「お母さんが漢字検定をがんばっているの、私も漢字が好きになりました」という小学生の話の聞きました。

野尻小 いもほり

1・2年生



5月に植えた「べにはるか」の収穫を、10月下旬に学校横の畑で行いました。協力は東麓地区営農組合とJAこばやし、保護者の皆さん。子どもたちは大きないもを見つける度に歓声を上げ、楽しく活動していました。作業の合間には大人との会話も弾み、異世代交流の貴重な機会にもなりました。収穫したいもは家庭へのお土産に持って帰りました。

さつまいもの苗植えと収穫は「食育」を目的として毎年行われています。大塚原認定こども園と野尻保育園の子どもたちも参加しました。

東方小 いもほり

2年生



2年生は体育館横の「2年生活科農園」で野菜を育てています。ナスやピーマン、ミニトマトの時期が終わり、10月にさつまいもを収穫しました。子どもたちは一生懸命穴を掘り、大きないもを見つけては大喜び。小さな畑ですと短時間で作業は終わり。それでも一輪車で2台分の収穫がありました。掘ったいもは焼きいもにするそうです。

細野小 稲刈り

5年生



学校から歩いて10分ほどの田んぼです。協力はJAこばやしと細野まちづくり協議会の皆さん。刈取りに加えて、交替で足踏み式脱穀機の体験もしました。これは、逆V字型の針金を埋め込んだ筒が回転して籾を落とす道具です。同時に、コンバインでの刈取りと脱穀の実演、内部の仕組みの説明もあり、子どもたちは新旧の農作業を目で見て確認していました。

収穫の時期になると、いくつかの学校でいもほりや稲刈りが行われます。そこでは、同じ活動でも学校独自の工夫や地域との連携など、さまざまな特色があり、興味深く見学させてもらっています。

幸ヶ丘小 幸っこフェスタ



前半は、生駒たたみ店の大岩根さんに教えてもらい、小物を置く敷物にもなる「ミニ畳」を家族や先生方と一緒に作りました。針を使う難しい作業は大人に手伝ってもらい、全校児童が立派な作品を完成させました。(上の写真)

後半は、子どもと大人のグループに分かれての話合い活動。地域の皆さんと吉藤議長を始め市議会議員4名も加わり、幸ヶ丘の今後について話し合いました。テーマは「子どもたちのよりよい未来のために、自分は何ができるか」。幸ヶ丘や生駒高原の活性化のためのアイデアがたくさん生まれ、子どもたちは生駒高原を巡るスタンプラリーについて発表しました。



裏に続きます

小林中 文化発表会(総合発表)



今年度は、弁論や総合の発表、合唱コンクールを、各学年1時間ほどにまとめて午前中に実施しました(午後は新体操と吹奏楽)。保護者も都合をつけやすかったのでしょうか、平日にもかかわらず多くの参観者が訪れていました。

「総合的な学習の時間」の発表より

【1年】農業体験学習。受入れ先の農家での体験を「農家さんおすすめのマッチの持ち方」などのクイズも交えて発表しました。

【2年】修学旅行で訪れた京都の人や風景、名物等を参考に、小林の活性化計画をまとめました。

【3年】3年生が企画した「KOBAFEST」(10月31日)のPRを兼ね、小林の活性化を目指すプロジェクトを紹介。小林の魅力再発見・新しいキャラクター・イメージソングなどについて説明しました。

各学年共通していたのは、食や自然の豊かさ、人々の温かさなど「小林の魅力」を伝えていたことです。2・3年生は、学級とプロジェクトごとに短い劇を取り入れた分かりやすい説明でしたし、空き家対策や観光地の整備、新商品の開発など、いろいろな提案をしていました。

活性化のアイデアが多くの人々の目に留まり、少しでも形になるといいですね。

東方中 パラスポーツ交流



東方中生とこすもす支援学校中学部の生徒がチームを組み、ボッチャとフライングディスクで交流を深めました。昨年に引き続いての開催です。同じ敷地内に学校があり、普段から顔を合わせる機会も多いことから、ごく自然に、協力しながら競技を楽しんでいました。

終わりの会では、支援学校の森永校長先生から「いろいろな人と関わり、お互いのことを考え、一緒に楽しむ…。こんなことを、これからも生活の中で学んでください」との講評がありました。

三松中 岩戸神楽

2年生



毎年、2年生全員が舞や演奏、裏方で一役を担い、岩戸神楽保存会(田原会長)の指導で練習を重ね、文化発表会で発表しています。当日は、神楽の起源と継承活動、生徒の役割分担の紹介の後、天岩戸開きと剣の舞、薙刀の舞などを披露しました。会場では、岩戸神楽の学習をしている三松小の4年生も熱心に鑑賞していました。

その後、1年生が農業体験学習、3年生が小林市未来予想図について発表しました。

みんなでやってみよう

西小林中 3年生
西小林小・幸ヶ丘小
1年生



毎年行っている3校の交流会です。中学3年生がいろいろなゲームと賞品を準備して迎え、1年生はグループでひとつずつ回って中学生と一緒に楽しみました。

終わった時の1年生の手には、ゲームでもらった手作りのお土産がたくさん。一列になって見送る中学生に手を振って、笑顔で帰って行きました。

細野中 演劇教室

劇団 民話芸術座



民話芸術座は東京都中野区に本部を置く1976年創立の劇団。小・中・高校での公演を中心に活動しています。公演前、5人の生徒が心と体の緊張をほぐす体操と腹式呼吸の発声を習い、朗読劇「銀河鉄道の夜」の一部を演じました。

【生徒の感想より】◆ 緊張したけど楽しかったです。◆ 緊張しましたが、練習通りできて良かったです。

野尻中 薬物乱用防止教室



【講師】小川智子さん(管理薬剤師:坂尾薬局)野尻小・中出身

若者の薬物乱用が増えている現状や危険性についてDVDと講話を通して理解を深めました。「約75%が大麻の危険性を認識していませんでした」との小川さんの言葉に生徒たちはびっくり。身体機能や脳への影響、依存症、脱法ドラッグによる事件や事故、オーバードーズ(医薬品の過剰摂取)の危険性、エナジードリンクやカフェイン、自分を守る方法などについてお話を聞きました。